

みんなが笑顔に



赤ちゃん先生プロジェクト



「赤ちゃん先生」ご存知ですか？

日本では、出産を機に仕事を辞める一方、育児に追われ孤立感を感じる母親が増えています。そんな母親たちが、子どもと一緒に社会と繋がれる場所が「赤ちゃん先生プロジェクト」です。

活動内容としては、ママと赤ちゃん(0歳~3歳)が、教育機関や高齢者施設等、様々な場所へ行き、癒し、笑顔、命の尊さを伝えます。たくさんの方が心動く、「感じる」ことで生きていることの素晴らしさを実感できます。

「赤ちゃん先生」の活動先

高齢者施設へ



高齢者施設では一緒に触れ合ったり、手遊びをしたり。無垢な赤ちゃんに触れることで普段見られないような笑顔が見られたり、ママも育児の大先輩のお話が聞けたりと、とてもいい経験になります。

小中学校へ



毎月、同じ赤ちゃん先生とママ講師とのふれあいを通して、成長するいのちの偉大さに気づき、ひとりひとりに大切ないのちがあることを学び自尊心や共感が芽生え、いじめ防止や自殺防止につながります。

高大学校へ



赤ちゃん先生とママ講師との関わりの中で自己イメージを明確にし、はたらくという事の本当の目的に気付く。また、出産や育児を含めた自己のキャリアデザインを確立させ、育児体験を通して親になる準備を学び、生涯のパートナーを探す時の軸となる考え方を身につけることでライフプランを明確にする。また、社会の中での自分自身の立ち位置と役割を知り、社会の課題に気付く、社会参加への意欲を高めることで社会力を身につける。

NPO法人ママの働き方応援隊

日時：3月25日(火)10:00~12:00

場所：青葉区中央市民センター第4会議室

内容：気軽に喝茶・赤ちゃん先生のDVD鑑賞・事業説明・交流会など

※お子さま用のおやつ・飲み物・離乳食は持ち込みOKです。

当日参加も可能ですが、人数が多い場合はお入りいただけませんのでご予約をお願いします。

お問い合わせ：仙台担当：合田 070-5501-1027

メール：kobe-minami@mamahata.net

私たちは働くママ
を応援しています！

Mamahata

プログラム内容

※プログラム内容は、より良い赤ちゃん先生クラスを運営する為に変更される場合があります。

小中学校



【具体的内容】

赤ちゃん先生と握手をしたり手や足の大きさを比べる事で、自分が成長してきたことを感じます。また、赤ちゃん先生がまだ一人で出来ない事と自分が出来る事を比べます。そこで、育ててくれた人への感謝や、自分が成長してきた事を感じる事ができます。お友達が赤ちゃん先生と触れ合っている優しい表情を見る事でお友達への共感が芽生えます。共感はいじめを減少させるポイントになります。

トレーナーが自分の悲しい体験の話をしします。大人も悲しいときや嬉しいときには泣くんだという事を知ります。次に、ママ講師に赤ちゃん先生から離れてもらいます。すると、泣き出す赤ちゃん先生がでてきます。そこで、赤ちゃん先生が泣いた理由や泣かなかった理由をシェアします。赤ちゃん先生がどんな時に泣くのかを知る事で、お友達が泣いているときに優しく接する気持ちや、悲しい時には泣いても大丈夫だよ、という受け入れる雰囲気クラスの中に作られます。

高齢者施設

【プログラム一例】

1時間目 『赤ちゃん先生がやってきた』

様々な月齢の赤ちゃん先生との出会いにより、ご自身の幼少期や子育ての経験がよみがえります。赤ちゃん先生と握手やだっこ・手遊びをすることで、笑ったり・泣いたり、こころが動く体験をしていただきます。また、ご自身のお子さん、お孫さん世代にあたるママ講師との会話を通して、誰かの役に立つという気持ちと呼び覚ましています。毎回、同じ赤ちゃん先生とママ講師が訪問する事で愛着形成が芽生え、赤ちゃん先生にとっても第二の故郷という位置づけで回を重ねる毎に家族のような交流となります。

開催先の声



【教育機関では…】

- ・参加されている赤ちゃんの母親(ママ講師)が、みなさんイキイキしている。
- ・自分の妻にも教えてあげたいと思った
- ・児童の保護者にもぜひ見てもらいたい
- ・児童たちが予想以上に静かにやさしく関わっていた
- ・安全面で心配したが、大丈夫だった、児童たちの大事にしてあげようという姿勢が見られた
- ・子供たちの集中力がすごい
- ・自分もこんなに小さかったんだと思った。
- ・小さくて可愛い

【高齢者施設では…】

- ・普段お世話している時には見られないような表情がみられる
- ・いつもはレクリエーションに参加されない方も毎回参加される
- ・小さなお友達ができました
- ・自分の小さい頃を思い出した

ママ講師の声



【教育機関に参加して…】

- ・子供たちが楽しみにしてくれているのがうれしい
- ・回を重ねるごとに子供たちの思いやりが見られる
- ・改めて命の大切さを知ることができる

【高齢者施設に参加して…】

- ・自分の子供を孫のように可愛がってくれる
- ・育児のいろんな話が聞ける
- ・自分の子供の名前を覚えてくれてたことがうれしい
- ・開催先に行くようになって、我が子が積極的になった

